



シンポジウム 水中文化遺産の多様性

—縄文から龍馬まで—

平成29年8月26日(土) 13:30~17:00 【13:00開場】

会場:九州国立博物館1階ミュージアムホール

定員:先着280名(申し込み不要・参加無料)

琵琶湖底に沈む謎の縄文遺跡、坂本龍馬ゆかりの「いろは丸」、そして、世界の水中文化遺産について講演します。水中にも広がる歴史の世界を体験してみませんか？

《プログラム》 司会:河野一隆 (九州国立博物館文化財課長)

13:30~13:45

◆ 展示紹介 「水の中からよみがえる歴史—水中考古学最前線—」

13:45~14:15

◆ 講演① 「水中ロボットを利用した琵琶湖葛籠尾崎湖底遺跡の調査」
矢野健一 (立命館大学文学部教授)

14:15~14:45

◆ 講演② 「坂本龍馬のいろは丸調査」
吉崎伸 (NPO法人水中考古学研究所理事)

14:45~15:15

◆ 講演③ 「水中文化遺産の保護 欧州編」
中西裕見子 (大阪府教育庁文化財保護課総括主査)

15:15~15:30 <休憩>

15:30~17:00

◆ 討論会 「水中文化遺産の魅力にせまる」

パネリスト:矢野健一、吉崎伸、中西裕見子、森先一貴(文化庁記念物課)、

福蘭美由紀(福岡市博物館)、木村淳(東海大学海洋学部)

コーディネーター:佐々木蘭貞(九州国立博物館研究員)



文化交流展示室
も見に行こう!

